

<h1 style="font-size: 48px; color: blue; text-shadow: 2px 2px 4px #000;">同窓会だより</h1>	編集・発行
	宇都宮短期大学 人間福祉学科同窓会
	2005
	第2号

新学長挨拶 須賀 英之

同窓会会報第二号の発刊おめでとうございます。日頃より卒業生の皆様が施設・病院・官庁・企業等で幅広く活躍されていることをうかがい、とても嬉しく、また頼もしく思っています。同窓会役員の方々が忙しい時間をやりくりして、ネットワーク作りにご尽力いただいている賜物であり、心より感謝申し上げます。

本学科も開学して四年が経過し、教学はもとより就職・サークル活動も大いに充実して活気に満ちています。今年三月には、幼児福祉専攻の第一期生が卒業しますが、既に大半の学生が保育園や幼稚園に内定を決めています。四月からは本学科と音楽学科の特色を融合した音楽療法士専攻コース（音楽科）を開設し、多くの新入学生をむかえます。隣接地に約一万坪の山林を取得し、学生の増加に対応した駐車場・駐輪場や憩いの場を設けました。

皆様には、本学の卒業生としての自信と誇りを共有する深い絆のもとに、励ましあって切磋琢磨し、さらに人間性を高めていただくことを期待しています。

会長挨拶 星 紘子

皆さんこんにちは。
今年も同窓会だよりを皆さんの

ところへお届けすることができ、役員一同ほっとしています。皆さんは今年一年で何か大きな変化がありましたか？二〇〇四年は自然災害の多い一年でした。こうして振り返ると、自然災害の恐ろしさや人との絆の強さを感じることもできた年でした。

災害弱者という言葉があります。現地の福祉活動や災害弱者の被災生活に行き渡って欲しいと願うばかりです。

最後になりましたが、卒業してからもお世話になっている短大の先生方と会報発行に際してご協力いただきましたたくさんの方にお礼を言いたいと思います。今後とも同窓会をよろしくお願い致します。

第二回 同窓会総会

去る五月十五日に宇短大体育館にて第二回目の総会が行なわれました。

- 年間活動計画
- ・四月～三月 役員会（月一回）
 - ・五月十日 監査会
 - ・五月十五日 同窓会総会
 - ・九月～十二月 会報編集
 - ・一月 同窓会会報発行
 - ・三月 大学祭援助
卒業パーティー出席

十五年度決算報告

同窓会会費	1,580,000円 (一人1万円)
昨年度卒業企画残金	165,668円
合計	1,745,668円

収入の部

支出の部

事務費	1,927
通信費	35,360
印刷費	88,200
予備費	9,899
大学祭援助費	100,000
卒業パーティー 出席費	12,000
合計	247,386

(円)

十六年度予算 歳入・歳出

同窓会会費	1,380,000円 (一人1万円)
昨年度卒業企画残金	171,500円
昨年繰越金	1,498,282円
利息	41円
合計	3,049,823円

収入の部

支出の部

事務費	30,000
通信費	50,000
印刷費	100,000
予備費	100,000
大学祭援助費	100,000
卒業パーティー 出席費	12,000
その他補助費	100,000
合計	492,000

(円)

役員紹介

今年もよろしくお願ひします。

同窓会会長

一期生 星 紘子

副会長

一期生 大山 高正

書記

一期生 海老原 由紀

会計

一期生 大島 豊

一期生 丸山 和美

会計監査

一期生 加藤 陽介

新役員紹介

今年度からよろしくお願ひします。

会計

二期生 鈴木 陽子

書記

二期生 杉山 亜紀

以上二名が第二回同窓会総会にて、新役員と任命されました。今後ともよろしくお願ひ致します。

レクリエーションフェスティバル

今年も年に一度のレクリエーションフェスティバルが行なわれました。今年もかなり盛り上がったようです。



宇短大祭

今年のテーマ「見つけようオリジナルカラー」の通り、それぞれのクラス・一人ひとりが個性を發揮し、すばらしい大学祭になっていました。



卒業記念パーティー

三月十七日 十五時より

東武ホテルグランデにて、宇都宮短期大学 人間福祉学科 第二期生の卒業記念パーティーが行なわれました。

ドレスアップした卒業生は、まるで別人のように大人でした。

美味しい料理や心地よい音楽の中、二年間共に過ごしてきた仲間たち、そして、我が子のように可愛がってくれた先生方との話しが盛り上がりました。

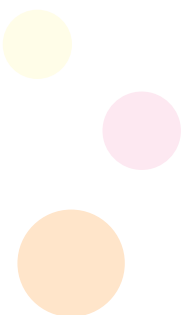
卒業パーティー係りが企画したビデオ上映では、入学式からの思い出の写真が流れました。楽しかった二年間の思い出、そして、今日卒業していくという実感がわき、思わず目に涙を浮かべる場面も見受けられました。



ビンゴゲームでは、卒業生も先生方も真剣！番号が読み上げられるたびに歓声が沸き上がりました。ビンゴゲームが一番盛り上がりがあったかも。

宇都宮短期大学という素晴らしい学校で出会った素敵な先生方や仲間たちは、卒業生の宝物になることでしょう。

「立派な社会人になれるようがんばろう。」とそれぞれが心に誓ったことでしょう。最高の卒業パーティーの幕が閉じました。





会員の近況

会員の方にインタビューしてきました。

社会福祉専攻 一期生 黒子 敬之
昨年開所した身体障害者療護施設に併設されたデイサービスセンターで介護職をしています。在宅で生活している障害者の方が、笑顔で潤いのある生活が出来るように支援していくことが目的であり、送迎、入浴

介助、昼食介助、レクリエーション、創作活動やリハビリが主な仕事です。また月一回以上の外出を行い、利用者間の交流を蜜に深めております。

「コーラス」の創作活動では、今春野菜の苗を植えて夏野菜作りやろう！とコーラス菜園を始めました。

今後も様々な活動を通して利用者の交流の場を広げ、住み慣れた地域でその人らしい生活を送るためのサポートに全力で取り組んでいきたいと思えます。

今後モ社会福祉を勉強し、将来自分の施設を持つという夢に向かって日々仕事に励みたいと思います。

介護福祉専攻 一期生 日下真奈美

私は卒業後、宇都宮にあるグループホームに勤めています。日々の業務としては、入浴介助、おむつ交換などで、一般家庭と何ら変わりなくその人らしい生活が出来るよう支援することです。入居者と一緒に掃除、洗濯、食事作りをそれぞれの能力に合わせ援助しながら生活しています。入居者は主に自立歩行の方なので、転倒には一番気をつけています。あくまでも共同生活なので、その人らしい生活と言っても、どこまで個人の自由を尊重すべきなのか、また、その人の自立を促す上で、どこからが手を出していい範囲なのかとても難しく、日々課題となっています。トラブルの原因にもなるので、常に職員間での報・連・相をしっかりと行

なっています。

今後モグループホームの特性を生かして、入居者とのコミュニケーションを大切にし、楽しい時は一緒に喜び、悲しい時は共に寄り添い、家族のような暖かい施設になれるよう努力していきたいです。そして、それぞれの入居者が生きがいを持って人生をまっとうできるように支援していきたいです。

社会福祉専攻 2期生 宇賀神正人

私は現在、特別養護老人ホームで働いています。私が仕事を行っている一階には全部で26名の入所者がおり、ユニットケアを実践しながら毎日と一緒に生活しています。ユニットケアとは従来の大規模なケアとは異なり、入所者をいくつかのユニットに分け少人数化することによってキメの細かいケアをしていける介護方法です。

また、少人数になったことよって、お年寄りや職員どうし「顔なじみ」の関係ができ、痴呆の特徴的な症状でも「不安」の軽減にも繋がっていくと考えられています。

施設のこれからの課題としては、「ユニットケアに伴った空間作り」だと思います。ただお年寄りを少人数に分けただけではあまり意味がありません。自分たちが普段当たり前のように暮らしてきた空間があつてこそ本当のユニットケアになるのだと思います。顔なじみの関係がやつと

できてきた今、これからは安心して暮らす空間作りを目指して努力していきたいと思えます。

介護福祉専攻 2期生 高木 愛

私は卒業後、鹿沼市にある特別養護老人ホームへ就職し、働いています。この施設ではユニットケアを行い、利用者のレベルに合わせて3つのグループにわかれています。仕事の内容は日常業務として、食事介助・入浴介助・排泄介助を主に任せています。また、利用者にとつて過ごしやすい環境の整備や、各月にある行事・イベントなどの計画・実行、レクリエーション活動なども行っています。私が特別養護老人ホームへの就職を希望した理由は、高齢化が進む社会の中で自分達がどれだけ必要とされているのかを授業で学び、介護福祉士という職業の存在の大切さを実感したからです。この仕事に就き「人を相手に働く」ということの責任の重大さに気付きました。そして利用者の死に立ち会い「命と向き合う」という事の辛さにも気付く事ができました。働き始めて半年、まだまだ学ぶ事も多いですが、今以上に自分の介護力を向上させようと、日々努力しています。今後の展望としては、現場で実務経験を積むことで介護力の向上に励み、ケアマネージャーの資格を取るといふ、目標に向かい努力して行きたいと考えています。

先生からの一言

教授 宗貞 秀紀 先生

既に人間福祉学科が開設されて四年。第一期生、第二期生が卒業され、今はそれぞれの職場で若手あるいは新任職員として活躍されていることと推察しています。

第三・四期生の就職活動により、皆さんの職場に後輩を迎えることも近いかと思えます。それぞれ良質の職場作りや福祉専門職として、相互によりよい刺激者となられるように望みます。

誰しもが安心して、安全で安定し、快適な生活を送れる社会を望んでいます。「社会(他者)が変われば自分も変り住みやすい社会が訪れる」のではなくありません。他者の責任ではなく「私たち一人一人が意識して変われば社会はよりよくなる」のではないのでしょうか。

各事業所等に従事する同窓生の皆さんと現役学生と教員で、住みやすい「まち」「福祉社会」「専門職のあり方」等のテーマで、セミナーやシンポジウムが開催できることを切に願っています。その終了後に、同窓生同士で一杯もいいですね。

講師 藤木 千工子 先生

すでに第3期生の卒業生の多くが社会福祉等の実践現場に就いていますが、私は今年も感慨深く思っています。念頭のはじめに、卒業生からの便りで、「この仕事(介護)を選ん

で良かった、とてもやり甲斐があった、楽しく仕事をしています、この仕事に就けて幸せです」という内容が、数人の卒業生からありました。また、

実習施設では卒業生が生きてきとともまぶしく働いているのを目にします。「経験1年目で、責任者として働かせて頂いています」という頼もしい言葉を聞き、教員との喜びを感じています。私たち教員は皆さんの実践力に期待をし応援をいています。職業理論を基本として、多いに力を発揮し励んでもらいたいと心から願っています。仕事を取り巻く社会の動向を受け利用者本位の支援活動を展開してください、いつでも母校に付けてきて情報を寄せてください、待っています。

事務局 佐柄 純子 さん

卒業生の皆さん元気にお過ごしですが?それぞれの道で頑張っていることと思います。

ところで、昨年の夏、男の子を出産しました。二人の息子の育児と仕事の両立はとても難しいのですが、家族や職場の同僚・保育園など周りの人たちに助けられていることを実感しています。進んだ道は様々だと思いますが、宇都宮短期大学で学んだ生きた福祉の心を大切にすることによって周りの人から感謝されるような活動が出来ることと思います。最後になりますが、皆さんがより一層「活躍されることを教員一同心より応援しています。」

教員センターレポート

新任の先生

社会福祉専攻

西尾 敦史

戸澤 由美恵

介護福祉専攻

佐藤 弥生

幼児福祉専攻

石川 由美子

具 守珍

助手

小野 篤司

勝浦 美智恵

移動になった先生方

大変お世話になりました。

学科長 教授

三友 雅夫 先生

教授

丸 紀和子 先生

教授

小坂 善治郎 先生

助教授

井上 深幸 先生

助手

趙 敏廷 先生

ベビー誕生

月橋 春美 先生

長女 早桜(さお)ちゃん

平成十六年二月十九日生まれ

松田 佳奈 先生

長女 遥香(はるか)ちゃん

平成十六年三月三十一日生まれ

佐柄 純子 さん

次男 拓海(たくみ)くん

平成十六年七月三十一日生まれ

結婚された先生

結婚おめでとございます。

講師 具 守珍

平成十六年七月

お知らせ

第3回同窓会総会

日時

平成十七年五月二十一日(土)

午後五時から

場所

宇都宮短期大学校内

体育館一階(予定)

みなさんに詳細等記載された往復はがきを郵送致しますので、出欠確認にご協力下さい。

ホームページについて

第一号「同窓会だより」にて記載したURLではホームページにアクセス出来なかったことをお詫びすると共に、新たに宇都宮短期大学のホームページから同窓会ホームページにリンク出来るようになりました。

迷惑をおかけしましたが、短大の情報と共にぜひアクセスしてみてください。

編集後記

皆さん元気でお過ごしでしょうか。

先日、短大の先生と学生時代の友人とで食事に行く機会がありました。それぞれの道で頑張っている友人たちの姿は励みとなり、変わらない調子で話してくれる先生とは、卒業したからこそその会話を楽しむことが出来ました。

短大を訪れる時間はなかなか作れないかもしれませんが、皆さんも是非、懐かしい仲間たちとの会話を楽しんでください。それではまた。

同窓会事務局

〒324 0607

栃木県那須郡馬頭町又648

TEL0287 92 4461

印刷 松井ヒ・テ・オ・印刷